

平成24年度 栗原市のお金の使い道 (栗原市決算概要)



つく
「市民が創る ぐらしたい栗原」

～みんなて明日へ～

はじめに

市民のみなさま、こんにちは。市長の佐藤勇です。

東日本大震災から2年7か月を経過しましたが、福島第一原子力発電所事故による放射性物質拡散から、安心・安全な暮らしを守るために、学校給食などの食材や米・大豆などの放射能検査、放射能低減のための保育施設や教育施設などの除染並びにホールボディカウンタによる健康調査実施などに全力で取り組んでおります。



また、平成24年度におきましては、ひとり暮らし高齢者などの万一の際に救急隊員が迅速な対応をとれるようにする救急安心キットの配布、若者定住や安定した雇用を確保するため、第2大林農工団地並びに三峰工業団地整備に向けた設計業務、震災の経験を踏まえた燃料や水・食料品の備蓄や自主防災組織の防災倉庫整備への助成、次代を担うたくましい子どもを育成するための若柳中学校校舎や若柳幼稚園整備など、大部分の事業は予定どおり執行いたしました。

一方で、東日本大震災や国の経済対策である「地域の元気臨時交付金」事業などの影響により年度内に完了できない43事業、約70億円を平成25年度へ繰り越して事業を行っております。

今回が3回目の発行となった「栗原市のお金の使い道（平成24年度決算概要）」は、「栗原市のお金の出所と使い道」と同じく「わかりやすく」、「見やすく」を心がけて作成いたしました。

お気づきの点があればご意見などをお寄せいただきながら、「市民が創るくらしたい栗原」をともに築き上げてまいりたいと考えておりますので、市民のみなさまの更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成25年11月

栗原市長

佐藤 勇

～ 目 次 ～

主要事業の決算額一覧	1
1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」	
(1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します	4
(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します	5
(3) 安全・安心なまちづくりを推進します	7
2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」	
(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します	8
(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します	9
(3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります	9
3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」	
(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います	10
(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります	12
(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します	14
4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」	
(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組みます	15
(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します	16
(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します	17
5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」	
(1) 小さなコミュニティを大切にされた地域づくりを推進します	18
(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します	18
(3) 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います	18
6 「震災からの復興を成し遂げ 発展していくまち」	
(1) 社会生活基盤の早期復旧を図り 市民生活の再建を支援します	19
(2) 市民協働による災害に強いまちづくりを推進します	19
(3) 福島第一原子力発電所からの放射性物質拡散への備えを進め 安全・安心な暮らしを守ります	20
7 特別会計・事業会計決算の主な事業	21
8 平成23年度からの主な繰越事業	23

資料の見方

(1) 事業別決算一覧 (1～3ページ)

区 分	事業名	当初予算額	決算額 (H25年度への繰越額)	ページ
(1)豊かな自然環境と共生した 生活を実現します	電気自動車用急速充電器設置事業	2,150 万円	856 万円 1,145 万円	

平成24年度内に使った金額(決算額)です。

(2) 施策別事業概要 (4～24ページ)

電気自動車用急速充電器設置事業
 【H25年度への繰越額】 1,145万円
 (担当：管財課 財産係)
 環境にやさしいまちづくりを進めるため、栗原市役所、栗駒総合支所、道の駅「路田里はなやま」の3箇所に急速充電器設置工事を行いました。

平成24年度予算のうち、年度内に完了できなかった事業費を平成25年度に繰越して、事業を行う金額です。

事業別決算一覧

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

区 分	事業名	当初予算額	決算額 (H25年度への繰越額)	ページ
(1)豊かな自然環境と共生した 生活を実現します	住宅用太陽光発電設備設置事業補助金	360 万円	1,160 万円	4
	農地・水保全管理支払交付金事業	6,241 万円	5,941 万円	
	資源ごみ収集処理事業	2,597 万円	2,214 万円	
	みやぎ環境交付金事業	781 万円	763 万円	
	電気自動車用急速充電器設置事業	2,150 万円	856 万円 (1,145 万円)	
(2)多様な暮らしを満喫できる 生活環境を形成します	公営住宅整備事業	4億7,734 万円	2億239 万円 (2億2,592 万円)	5
	都市計画道路事業	1億420 万円	6,410 万円 (3,290 万円)	
	都市計画用途地域・都市計画道路見直し事業	650 万円	625 万円	
	道路橋りょう維持事業	4億3,648 万円	4億2,631 万円 (1億499 万円)	6
	道路整備事業	4億7,312 万円	1億8,496 万円 (2億3,438 万円)	
	携帯電話基地局整備事業	5,975 万円	5,095 万円	
	新地域交通システム整備事業	2億2,847 万円	1億9,633 万円	
(3)安全・安心なまちづくりを推進します	耐震診断・耐震改修等助成事業	6,645 万円	2,721 万円	7
	小・中学生に対する命をつなぐ学習事業	90 万円	81 万円	
	高規格救急車整備事業	2,972 万円	2,873 万円	
	「栗原市防災の日」総合防災訓練	396 万円	284 万円	

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

区 分	事業名	当初予算額	決算額 (H25年度への繰越額)	ページ
(1)次代を担うたくましい子どもを育成します	(仮称) 金成小中一貫校建設事業	14億9,000 万円	4億688 万円 (12億370 万円)	8
	家族・地域・学校の連携による青少年育成のための協働教育推進事業	57 万円	121 万円	
	豊かな心をはぐくむ教育環境創造事業ほか3事業	637 万円	579 万円	
	岩ヶ崎小学校改修事業	8,178 万円	9,945 万円	
	若柳小学校改修事業	1億939 万円	6,346 万円 (4,407 万円)	
	若柳幼稚園整備事業	1億6,687 万円	2億1,028 万円	
	学力向上のための緊急プロジェクト	473 万円	432 万円	
(2)人生を楽しむための実践機会を充実します	語学指導を行う外国青年招致事業	6,402 万円	6,144 万円	9
	ほんものの舞台芸術観賞事業	533 万円	404 万円	
	くりはらグリーンバスポート事業	5 万円	5 万円	
	「心にきざむ 文化講演会」	243 万円	46 万円	
	「目指せ！日本一」スポーツ振興事業	200 万円	433 万円	
(3)地域に根ざした文化の振興と 歴史の継承を図ります	「やったね！日本一」スポーツ振興事業	100 万円	5 万円	
	文化財保護事業	8,029 万円	7,800 万円	

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

区 分	事 業 名	当初予算額	決算額 (H25年度への繰越額)	ページ	
(1)子どもを安心して出産でき 健康やかに育てられる支援を行います	ブックスタート推進事業	72 万円	70 万円	10	
	児童虐待防止対策事業	375 万円	375 万円		
	放課後児童クラブ等運営事業	6,395 万円	8,741 万円		
	地域子育て支援センター運営事業	1,606 万円	1,422 万円		
	すこやか子育て支援金支給事業	2,500 万円	2,106 万円		
	(2)誰もが健康で安心して 暮らせる環境をつくります	子ども医療費助成事業	8,918 万円	7,628 万円	11
		一時保育事業	1,103 万円	1,116 万円	
		特定不妊治療費助成事業	150 万円	145 万円	
		母子保健健康診査事業	6,618 万円	5,794 万円	
		妊婦歯科健康診査事業	91 万円	81 万円	
(3)高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します	消費生活相談事業	652 万円	654 万円	12	
	健康診査事業	2億50 万円	1億6,874 万円		
	いのちを守る緊急総合対策事業	1億310 万円	1億254 万円		
	予防接種事業	1億7,017 万円	1億7,932 万円		
	(2)誰もが健康で安心して 暮らせる環境をつくります	地域活動支援センター運営事業	2,751 万円	2,734 万円	13
		訪問入浴サービス事業	604 万円	550 万円	
		日中一時支援事業	369 万円	449 万円	
		日常生活用具給付等事業	1,546 万円	1,759 万円	
		移動支援事業	1,105 万円	818 万円	
		相談支援事業	1,980 万円	1,961 万円	
(3)高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します	自動車運転免許取得費・改造費助成事業	134 万円	175 万円	14	
	高齢者福祉タクシー利用助成事業	490 万円	612 万円		
	「食」の自立支援事業	856 万円	979 万円		
	軽度生活援助事業	818 万円	757 万円		
	救急安心キット事業	202 万円	155 万円		
	生きがい活動支援通所事業	2,927 万円	2,572 万円		
	高齢者日常生活支援業務利用助成事業	150 万円	157 万円		
緊急通報体制等整備事業	448 万円	416 万円			

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

区 分	事 業 名	当初予算額	決算額 (H25年度への繰越額)	ページ
(1)栗原ブランドの形成と高付加価値の 地場産品づくりに取り組みます	栗原ブランドの確立・支援事業	1,035 万円	1,003 万円	15
	農地集積支援事業	800 万円	636 万円	
	ベレットストア購入事業	110 万円	83 万円	
	くりはら和牛の郷づくり支援強化事業	907 万円	3,013 万円	
(2)産業育成と企業誘致による 産業拠点を形成します	第2大林農工団地整備事業	4,205 万円	668 万円 (3,532 万円)	16
	三峰工業団地整備事業	6,736 万円	2,737 万円 (3,997 万円)	
	企業立地促進奨励金	1,288 万円	1,077 万円	
	雇用促進奨励金	500 万円	220 万円	
	雇用拡大奨励金	2,200 万円	900 万円	
	新産業創出支援事業	500 万円	480 万円	
(3)地域資源を活かした交流人口の 増加を図り栗原市を発信します	大学連携事業	826 万円	275 万円	17
	広域観光戦略推進事業	131 万円	48 万円	
	国際交流フェア事業	100 万円	129 万円	
	観光施設整備事業	6,273 万円	5,345 万円	
	栗駒山麓崩落地・景観活用事業	1,487 万円	1,479 万円	
チャレンジショップキーパー支援事業	500 万円	151 万円		

5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」

区 分	事業名	当初予算額	決算額 (H25年度への繰越額)	ページ
(1)小さなコミュニティを大切に 地域づくりを推進します	住民自治活動助成事業	6,567万円	5,702万円	18
	(2)市民が自ら行うまちづくり活動を支援します	804万円	771万円	
	(3)市民満足度を重視した効率的な 行政サービスを行います	総合支所整備事業	7億4,490万円	
市役所本庁舎等改修事業		3億9,238万円	1億7,208万円 (2億275万円)	

6 「震災からの復興を成し遂げ 発展していくまち」

区 分	事業名	当初予算額	決算額 (H25年度への繰越額)	ページ
(1)社会生活基盤の早期復旧を図り 市民生活の再建を支援します	志波姫小学校災害復旧事業	14億8,422万円	14億4,244万円 (6億5,658万円)	19
	金成萩野保育所応急仮施設建設事業	2,100万円	2,058万円	
	ブロック塀等除去・生垣等設置助成事業	400万円	85万円	
(2)市民協働による 災害に強いまちづくりを推進します	災害用備蓄品整備事業	208万円	212万円	20
	自主防災組織備品の拡充事業	1,000万円	1,638万円	
(3)福島第一原子力発電所からの 放射性物質拡散への備えを進め 安全・安心な暮らしを守ります	放射能除染対策事業	1億円	2億8,314万円 (1億920万円)	20
	農林水産物等放射能調査事業	936万円	642万円	
	放射性物質吸収抑制対策事業	0万円	2億60万円	
	原子力災害健康不安対策調査事業	5,000万円	4,902万円	

7 特別会計・事業会計決算の主な事業

区 分	事業名	当初予算額	決算額 (H25年度への繰越額)	ページ
国民健康保険特別会計	特定健康診査・特定保健指導事業	5,599万円	4,591万円	21
介護保険特別会計	認知症対策事業	684万円	560万円	
	介護予防事業	1,278万円	1,271万円	
後期高齢者医療特別会計	後期高齢者医療制度	9億500万円	8億14万円	
水道事業会計・簡易水道事業特別会計	簡易水道再編推進事業	1億2,200万円	8,737万円 (2,900万円)	
	水道施設整備事業	3億3,529万円	2億22万円 (1億2,600万円)	
下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・合併処理浄化槽事業特別会計	水洗化促進奨励金制度	500万円	80万円	
	水洗便所等改造資金利子補給制度	42万円	29万円	
下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計	排水設備設置工事費補助金制度	89万円	83万円	
合併処理浄化槽事業特別会計	浄化槽整備事業（個人設置型）	736万円	473万円	
	戸別浄化槽設置事業（市町村設置型）	2億3,569万円	1億9,450万円	
病院事業会計	医師住宅整備事業	5,807万円	5,312万円	22
	医療機器整備事業	1億9,342万円	1億5,216万円	
	医学生修学一時金貸付事業	2,280万円	1,520万円	
	看護学生修学資金貸付事業	900万円	830万円	
診療所特別会計	各診療所発電機等購入事業	196万円	123万円	

8 平成23年度からの主な繰越事業

区 分	事業名	繰越予算額	決算額	ページ	
主な繰越事業	防犯灯整備事業	8,105万円	8,105万円	23	
	観光施設整備事業	5,630万円	5,579万円		
	栗駒南小学校（旧尾松小学校）改修事業	9,795万円	9,768万円		
	鶯沢小学校体育館改修事業	8,000万円	7,888万円		
	栗原西中学校（旧一迫中学校）体育館改修事業	1,057万円	1,057万円		
	中学校校舎改築事業	中学校校舎改築事業	8億5,751万円	8億4,900万円	24
		中学校プール改築事業	2億8,089万円	2億6,544万円	
	道路整備事業	2億9,011万円	2億4,619万円		

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に標記)

新 住宅用太陽光発電設備設置事業補助金

1,160万円

(担当：環境課 環境政策係)

地球温暖化対策と低炭素社会の実現を目的として、一般家庭における太陽光発電システムの設置に対して助成しました。(99件)



一般家庭への普及が進む太陽光発電パネル

拡 みやぎ環境交付金事業

763万円

「みやぎ環境税」を活用し、地球温暖化対策や野生鳥獣対策の事業を実施しました。

■ 住宅用省エネルギー機器導入支援事業補助金

(担当：環境課 環境政策係)

一般家庭における環境に配慮した省エネルギー機器(高効率給湯器)の購入に対して助成しました。(22件)

■ LED道路照明灯交換事業

(担当：建設課 管理係)

二酸化炭素削減を図るため、道路照明灯を消費電力の少ないLED照明灯に交換しました。(23基)

■ 野生鳥獣対策防護柵設置補助事業

(担当：農林振興課 林業振興係)

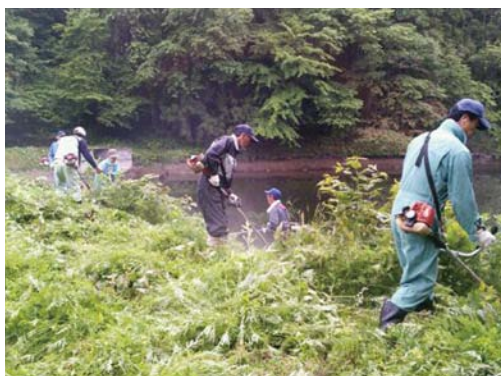
ツキノワグマなどによる農林産物への被害防止対策として、田畑への防護柵などの設置に対して助成しました。(7件)

みず 農地・水保管理支払交付金事業

5,941万円

(担当：農業政策推進室 農業政策推進係)

田畑や農業用水などの資源や農村環境の保全と質の向上を図るため、地域ぐるみの共同活動や水路などの更新、補修を行う長寿命化の活動に対して支援を行いました。



共同活動によるため池の草刈り

電気自動車用急速充電器設置事業

856万円

【H25年度への繰越額 1,145万円】

(担当：管財課 財産係)

環境にやさしいまちづくりを進めるため、栗原市役所、栗駒総合支所、道の駅「路田里はなやま」の3か所で急速充電器設置工事を行いました。



栗原市役所駐車場に設置した急速充電器(平成25年10月完成)

資源ごみ収集処理事業

2,214万円



(担当：環境課 生活環境係)

ごみの減量化・再資源化を推進するため、資源ごみの適正処理や分別の普及啓発を行い、ごみの排出量の減少が図られました。

(ごみの排出量：対平成23年度 5%減)

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

公営住宅整備事業

2億239万円

(担当：建築住宅課 建築係)

【H25年度への繰越額 2億2,592万円】

安心して暮らせる居住・生活環境の整備を図るため、地域と密着・連携した公営住宅の建設と、建替えにより用途廃止となった公営住宅の解体を行いました。

また、定住化を図るため、新たな定住促進住宅敷地の造成設計を行いました。

建設 (栗 駒) 市営八日町住宅建替
解体 (高清水) 市営五輪東住宅
設計 (瀬 峰) (仮称) 定住促進下藤沢住宅



市営八日町住宅建設地 (上町裏住宅建替)

都市計画道路事業

6,410万円

【H25年度への繰越額 3,290万円】

(担当：都市計画課 都市計画係)

都市計画道路として安全で快適な交通体系を確保しながら、利用しやすい街路づくりを推進しました。

(築館) 一迫南線、小山内沢線、源光町田線



現在整備中の都市計画道路一迫南線

都市計画用途地域・都市計画道路見直し事業

625万円

(担当：都市計画課 都市計画係)

都市計画用途地域・都市計画道路は合併前のままとなっているため、平成21年3月に策定した都市計画マスタープランを踏まえ、新しい都市計画用途地域・都市計画道路を平成25年3月に決定しました。



用途指定されている街並み(築館宮野地区)

道路橋りょう維持事業

4億2,631万円

【H25年度への繰越額 1億499万円】

(担当：建設課 維持係)

安全・安心で快適な道路環境を整備するため市道や生活道路などの補修を行いました。



市道中道線 (一迫)

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

新規事業、 拡充事業 (事業名の頭に標記)

道路整備事業

1億8,496万円

(担当: 建設課 建設係)

【H25年度への繰越額 2億3,438万円】

市民の生活を支える基礎となる市道(橋梁)の安全性と快適性を確保するため、幅員の狭い道路や見通しの悪い急カーブなどを改良しました。

- 《築館》間渡戸線
- 《築館・一迫》栗原中央西線
- 《若柳》大林9号線、新田線(2期)
- 《高清水》上萩田線、覚満寺線(2期)
- 《鶯沢》辻前遠堀線(2期)
- 《金成》片馬合原線、片馬合萩荘線
- 《志波姫》熊谷線大原橋
- 《市内一円》橋梁詳細点検(4橋)



市道間渡戸線(築館)

携帯電話基地局整備事業

5,095万円

(担当: 市政情報課 情報化推進係)

花山地区(小豆畑、大笹)に携帯電話基地局を整備することで、携帯電話不感地域の解消を図りました。

花山地区(小豆畑)に整備した鉄塔



新地域交通システム整備事業

1億9,633万円



(担当: 市民協働課 地域振興係)

市民バスを運行するとともに、市民が利用しやすい交通体系を確立するため、実態調査による市民バスの運行の見直しを行いました。

また、他の市民バスとの乗継ぎなどにかかる利便性を図るため、時刻改定や一迫真坂地区から栗駒病院への「真坂岩ヶ崎線」を新設しました。

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(3) 安全・安心なまちづくりを推進します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

耐震診断・耐震改修等助成事業

2,721万円

(担当：建築住宅課 建築係)



住宅耐震改修の状況

今後の大地震に備え、昭和56年以前の木造住宅の耐震診断やその診断結果に基づく耐震改修工事に対して助成しました。また、高齢者や母子家庭世帯の室内の安全確保を図るため、タンスなどに家具転倒防止器具の取り付けを行いました。

- 木造住宅耐震診断助成事業：45件
- 木造住宅耐震改修工事助成事業：21件
- 家具転倒防止器具取付事業：10件

小・中学生に対する命をつなぐ学習事業

81万円

(担当：消防本部 警防課警防係)

応急手当の方法を習得しながら、命の大切さを学ぶための学習事業を市内の小・中学生を対象に実施し、子供たちの心の教育につなげました。(小学校8校、中学校3校)



AEDの取扱いも学びました

高規格救急車整備事業

2,873万円

(担当：消防本部 警防課警防係)

栗原消防署北分署に高度救命処置が可能な高規格救急車を配置しました。



高度救命処置用資器材搭載の高規格救急車

「栗原市防災の日」総合防災訓練

284万円

(担当：危機対策課 防災係)

6月14日を「栗原市防災の日」と定め、岩手・宮城内陸地震と東日本大震災という2度の震災の経験を踏まえながら、自主防災組織などを中心とした防災訓練を行いました。



- 平成24年6月17日(日) 会場：一迫中央公園周辺
- 訓練種目数：25種目 訓練参加団体数：296団体
- 訓練参加人数：946人



平成24年度 総合防災訓練の様子

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します

 新規事業、 拡充事業 (事業名の頭に標記)

(仮称) 金成小中一貫校建設事業

4億688万円

(担当：学校教育課 教育環境推進係)

【H25年度への繰越額 12億370万円】

金成地区の小学校(沢辺、金成、萩野、萩野第二、津久毛)を1校に再編し、金成中学校と併せて創設する小中一貫校の施設整備を進めています。

平成26年4月の開校に向けて、平成24年度は校舎・屋内運動場・プール施設などの建設工事を行いました。

(仮称) 金成小中一貫校イメージ図



岩ヶ崎小学校改修事業 9,945万円

特別支援教室・学習室の増築工事等を行いました。

若柳小学校改修事業 6,346万円

【H25年度への繰越額 4,407万円】
屋根改修、内装改修などを行いました。

若柳幼稚園整備事業

2億1,028万円

保育室・遊戯室等の増築工事を行いました。

(担当：学校教育課 教育環境推進係)

増築工事を行った若柳幼稚園



家族・地域・学校の連携による青少年育成のための協働教育推進事業 121万円

(担当：社会教育課 生涯学習係)

学校と地域をつなぐコーディネーターやボランティアを養成し、協働教育を推進しました。

学力向上のための緊急プロジェクト

432万円

宮城教育大学と連携し、中学生の学びの場である「もっと学びたい子どものための『学府くりはら塾』」の開講や、学び支援コーディネーターを活用した小学生版『学府くりはら塾』の開講などにより、総合的な学力の向上を図りました。

豊かな心をはぐくむ教育環境創造事業

ほか3事業 579万円

(担当：学校教育課 指導係)

教育相談員の配置や適応指導教室(けやき教室)の開設、問題を抱える子ども等の自立支援事業などを行い、いじめ、不登校問題に関する児童生徒、保護者の専門相談に対応しました。

語学指導を行う外国青年招致事業

6,144万円



外国語指導助手(ALT)を市内全中学校に配置し、英語教育と地域交流などを推進しました。

また、市内小学校における独自の英語活動を導入し、留学生との交流などを通じて、生きた英語教育を実践しました。

(担当：学校教育課 指導係)

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

ほんものの舞台芸術観賞事業 404万円
(担当:社会教育課 文化スポーツ推進係)

優れた文化芸術に触れる機会と、本格的な舞台芸術の鑑賞機会を提供し、未来の文化の担い手である子どもたちの感性や創造性を育みました。



小学校5年生から中学校3年生芸術観賞会
演劇「Sky ～ あの空の向こうに～」の様子

「心にきざむ 文化講演会」 46万円
(担当:社会教育課 文化スポーツ推進係)

和洋女子大学の佐藤勝明教授を招き、「『奥の細道』のおもしろさ」について講演をいただきました。

「目指せ！日本一」スポーツ振興事業 433万円

各種スポーツの全国大会などへの出場選手(団体)に参加費を助成しました。(52件)

「やったね！日本一」スポーツ振興事業 5万円

全国大会で日本一など優秀な成績を残した各種スポーツ出場選手の活動を支援しました。(3件)

(担当:社会教育課 文化スポーツ推進係)



第47回全日本少年剣道錬成大会参加者

くりはらグリーンパスポート事業 5万円
(担当:社会教育課 生涯学習係)

児童・生徒がパスポートを使って、「見て・聞いて・触れて」体験を通して、たくさんの発見をすることを支援しました。

※くりはらグリーンパスポート

市内の児童・生徒がパスポートに掲載されている県内の社会教育施設を利用したり、見学する際、受付窓口で提示すると無料になります。

(3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります

文化財保護事業 7,800万円
(担当:文化財保護課 文化財係・埋蔵文化財係)



史跡山王団遺跡の整備、史跡伊治城跡公有化(土地の買上)のほか、市内文化財の調査保護、地域の伝統芸能活動の支援を行いました。

史跡伊治城跡発掘調査現地説明会の様子



3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

ブックスタート推進事業

70万円

(担当：栗原市立図書館)

3～4か月児健診の際に、絵本を開く楽しい体験とメッセージを伝えて絵本を贈り、赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心ふれ合うひとときを持つ、きっかけを作りました。

健診での絵本の読み聞かせの様子



児童虐待防止対策事業

375万円

(担当：子育て支援課 子ども・家庭福祉係)

児童虐待をなくすため、地域協議会の開催や関係機関との連携、相談などを行いました。

また、児童虐待に関する専門的な研修を実施し、要保護家庭の支援スタッフの資質向上を図りました。

地域子育て支援センター運営事業

1,422万円

(担当：子育て支援課 保育サービス係)

地域全体で子育てしやすい環境を推進するため、市内9地区にセンターを開設し、育児不安を抱える母親の相談や子育てサークルなどの育成支援を行いました。



活動を通じて育児相談や情報提供などを行っています

放課後児童クラブ等運営事業

8,741万円

(担当：社会教育課 生涯学習係)

共働き家庭などの概ね10歳未満の預かり児童の健全育成を図るため、放課後に小学校の空き教室などを利用し、適切な遊びや生活の場として開設しました。

開設数：17か所(市内全地区)

入所児童数：539人(平成24年4月1日時点)



遊びや宿題などをしてみんなと楽しく過ごします

すこやか子育て支援金支給事業

2,106万円



(担当：子育て支援課 子ども・家庭福祉係)

子育てを応援するため出生祝金、入学祝金を支給しました。

■出生祝金	第1・2子	2万円
	第3子	5万円
	第4子	10万円
	第5子以降	20万円
■入学祝金	第3子以降	10万円

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

子ども医療費助成事業 7,628万円

(担当:子育て支援課 子ども・家庭福祉係)

子育て家庭における経済的軽減を図ることを目的に、小学生・中学生の入院通院に係る医療費を助成しました。

助成延べ件数

小学生:31,290件 中学生:7,323件

特定不妊治療費助成事業 145万円

(担当:子育て支援課 子ども・家庭福祉係)

高額な治療費がかかる体外受精などの特定不妊治療を受けた夫婦の経済的負担を軽減するため、治療費を助成しました。

母子保健健康診査事業

5,794万円

(担当:健康推進課 保健指導係)

妊婦と乳幼児の疾病、異常の早期発見・早期治療の促進と健康管理の向上を図るため、各種健康診査を行いました。

- 妊婦一般健康診査助成(14回)
- 1歳6か月児～3歳児までに健康診査とフッ素塗布(4回)の実施
- 乳幼児健診:2か月児～3歳児の疾病の有無、成長発達の確認、育児の相談 など

一時保育事業

1,116万円

(担当:子育て支援課 保育サービス係)

保護者のパート就労や病気、冠婚葬祭、育児による心理的・肉体的負担の解消を図るため、市内10か所の保育所で一時的(緊急的)にお子さんを預かる事業を実施しました。



一時保育の様子



1歳6か月児健診の様子

妊婦歯科健康診査事業

81万円

(担当:健康推進課 保健指導係)

妊婦と生まれてくる子の歯の健康づくりのため、妊婦歯科健康診査を行いました。また、妊娠期におけるむし歯や歯周病の予防、早期発見・早期治療を促し、妊婦の健康増進と早期からの乳幼児のむし歯予防に対する意識づけを図りました。

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくりま

■=新規事業、■=拡充事業 (事業名の頭に標記)

消費生活相談事業 654万円

(担当：産業戦略課 商工振興係)

専門知識と経験のある消費生活相談員を配置し、市民からの契約や電話勧誘販売などの消費生活相談に対応しました。

平成24年度相談件数：110件

[相談窓口]

月曜日～金曜日 9時～16時まで

(祝日・年末年始除く)

専用電話 0228-22-1501

[相談場所]

築館農村環境改善センター 1階事務室

(市役所本庁舎隣、築館ふるさとセンター)

■健康診査事業 1億6,874万円

(担当：健康推進課 健康推進係)

市民の健康保持や病気の早期発見のため、各種健康診査・がん検診などを行い、健康管理を支援しました。

また、対象年齢の方へのがん検診無料クーポン券の配布や、平成24年度から新たに肺がんの早期発見・早期治療のための肺がんCT検診を実施しました。



肺がんCT検診の様子

■いのちを守る緊急総合対策事業

1億254万円

(担当：社会福祉課 社会福祉係
・健康推進課 保健指導係)

自殺防止対策として、キャンペーンや講演会、多重債務に関する電話相談、栗原市のぞみローンによる資金融資などを継続して実施したほか、小中学生など対象に、金融教育の啓発事業を新たに実施しました。

自殺者数は、徐々に減少しているものの、依然として宮城県内でも多い状況です。



自殺防止キャンペーンの様子

■予防接種事業 1億7,932万円

(担当：健康推進課 健康推進係)


感染のおそれがある疾病の発生や蔓延を予防するため、各種予防接種を行いました。

また、高齢者のインフルエンザ予防接種の個人負担の軽減を行いました。

BCG、ポリオ、三種混合（ジフテリア、百日せき、破傷風）、麻しん及び風しん混合、日本脳炎、高齢者インフルエンザ、水痘ワクチン、流行性耳下腺炎ワクチン、子宮頸がんワクチンの予防接種など

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

地域活動支援センター運営事業

2,734万円

(担当：社会福祉課 障害福祉係)

在宅の障害者の社会復帰対策として、通所による創作活動や生産活動の機会の提供や社会との交流の促進を図りました。

地域活動センターでの勉強会の様子



訪問入浴サービス事業

550万円

自宅での入浴が困難な身体障害者に対し、訪問入浴サービスを行いました。

日中一時支援事業

449万円

障害者に日中活動の場を提供し、家族の就労支援や介護の負担を軽減するための支援を行いました。

日常生活用具給付等事業

1,759万円

重度障害者などに対し、日常生活の便宜を図るため、特殊寝台や紙おむつなど日常生活用具の給付を行いました。

移動支援事業

818万円

屋外での移動が困難な障害者に、外出する際の支援を行いました。

相談支援事業

1,961万円

障害者などからの相談に応じ、必要な情報を提供しました。

(担当：社会福祉課 障害福祉係)

自動車運転免許取得費・改造費助成事業

175万円



(担当：社会福祉課 障害福祉係)

障害者の自動車運転免許の取得費用や自動車の改造費用に対して助成しました。

また、自動車運転免許取得費助成については、精神保健福祉手帳の交付を受けている方を交付対象者に加え、補助金の限度額を20万円とし、自動車改造費助成においても補助金の限度額を18万円としました。

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

生きがい活動支援通所事業 2,572万円

交流の輪を広めながら、通所による軽体操や創作活動（ミニデイサービス）を行い、高齢者の社会参加を促しました。

「食」の自立支援事業 979万円

高齢者のみの世帯に対し、宅配による給食サービスを行いました。

軽度生活援助事業 757万円

高齢者のみの世帯に対し、ホームヘルパーを派遣し、軽易な日常生活上の援助を行いました。

高齢者福祉タクシー利用助成事業 612万円

通院が困難な低所得の高齢者に対し、通院のためのタクシー利用料金を助成しました。

高齢者日常生活支援業務利用助成事業 157万円

高齢者のみの世帯に対し、庭の清掃や除雪作業などの日常生活にかかる経費を助成しました。
(シルバー人材センターが行う日常生活支援業務に限ります。)

緊急通報体制等整備事業 416万円

自宅でのひとり暮らし高齢者などに対し、家庭用緊急通報システムの貸し付けを行いました。

(担当：社会福祉課 社会福祉係)



救急安心キット事業 155万円



(担当：社会福祉課 社会福祉係)

ひとり暮らし高齢者などに対し、主治医や病歴を記載した用紙を保管するキットを配布し、万一の救急の際に救急隊員が迅速な対応をとれるようにしました。

栗原市あんしんキット

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組みます

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

栗原ブランドの確立・支援事業


1,003万円

(担当：産業戦略課 商工振興係)

「栗原ブランド」認定制度の継続とインターネットなどを活用した独自の直売ルートの開拓と各分野の事業者が連携した新たな商品開発を支援しました。

また、栗原の魅力や商品を全国に発信し、栗原ブランドの確立を図りました。



 くりはらみぞれ鍋



栗原ブランド認定品 (平成25年3月末現在26品目)

農地集積支援事業

636万円

(担当：農林振興課 農政係)

安定した土地利用の確保と担い手の経営規模の拡大を図るため、農地集積の誘導助成を行いました。(104件)

ペレットストーブ購入事業 83万円

(担当：農林振興課 林業振興係)

森林資源の有効活用と二酸化炭素削減の啓発を図るため、「金成温泉延年閣」にペレットストーブを設置しました。



金成温泉延年閣に設置したペレットストーブ

くりはら和牛の郷づくり支援強化事業

3,013万円

(担当：畜産園芸課 畜産振興係)



栗原和牛ブランド戦略として、産肉能力の高い茂洋の確保・強化と優良和牛の産地づくりを図るため、市内で生産された優秀な繁殖・肥育素牛を自家保留またはみやぎ総合家畜市場から導入した畜産農家に対し、助成しました。(570頭)



優良和牛の産地化を目指します
(第10回全国和牛能力共進会長崎大会)

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

第2大林農工団地整備事業

668万円

【H25年度への繰越額 3,532万円】

三峰工業団地整備事業

2,737万円

【H25年度への繰越額 3,997万円】

(担当：産業戦略課 企業戦略係)

若者の定住促進や安定的な雇用の場の確保、地域経済の活性化を図るため、工業団地の整備に向けた地域説明会の開催や関係機関との協議、設計業務などに取り組みました。



第2大林農工団地整備予定地（若柳）



三峰工業団地整備予定地（築館）

雇用拡大奨励金

900万円

(担当：産業戦略課 商工振興係)

若者の市内定住及び市内企業等への人材確保を図るため、新規卒者等（市内に住所を有する高等学校卒業後3年以内までの者）を新たに常時雇用した市内企業に対し、雇用者数に応じて助成しました。

企業立地促進奨励金

1,077万円

市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模に応じ固定資産税相当額を助成しました。（3社）

雇用促進奨励金

220万円

市内に住所を有する者を3人以上新たに常時雇用した市内企業に対し、その雇用者数に応じて助成しました。（4社：交付対象新規雇用者数22人）

(担当：産業戦略課 企業戦略係)



就職希望高校生と市内企業の出会いの場
「くりはらジョブ・フェア2012-夏」の様子

新産業創出支援事業

480万円

(担当：産業戦略課 企業戦略係)

新たな産業と雇用の創出に向けて、市内の企業が大学や研究機関などとの連携による新製品の研究・開発に対して助成しました。

大学連携事業

275万円

(担当：企画課 企画係)

市と慶應義塾大学は、地球温暖化による気候変動が及ぼす自治体への影響やその対応策の検討に取り組んでいます。（「グリーン社会ICTライフインフラ」研究プロジェクト）

平成24年度は、最先端の情報通信技術を活用したエネルギー消費の測定とエネルギーの効率的利用を図る仕組みや遠隔からの健康相談・疾病予防を図る仕組みづくり、災害発生時の情報通信などの研究を行いました。

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に標記)

拡 広域観光戦略推進事業

48万円

(担当：田園観光課 観光企画係)

秋田県・宮城県・岩手県の3市1村にまたがる栗駒山の豊かな自然資源、動植物、温泉、歴史や独特の文化など、多彩な魅力の掘り起こしを目的として、「ゆっくりひとめぐり栗駒山麓観光写真コンクール」などの観光振興事業を県域を越えた広域的な連携により、実施しました。

第2回「ゆっくりひとめぐり」栗駒山麓観光写真コンクール
最優秀賞作品 「栗峰翔る白鳥」



新 国際交流フェア事業

129万円

(担当：市民協働課 地域振興係)

高校生を対象に実施している海外派遣事業の派遣先であるスウェーデンとの交流や市国際交流協会の活動を紹介しながら、異なる文化や伝統に触れ、交流を深めました。



「スウェーデン・フェスティバル in くりはら」
歓迎レセプションの様子

拡 栗駒山麓崩落地・景観活用事業

1,479万円

(担当：田園観光課 観光企画係)

平成20年岩手・宮城内陸地震による大規模崩落地や伊豆沼・内沼、旧細倉鉱山などの自然資源を活用した「栗駒山麓ジオパーク構想」を推進し、防災教育や学術研究、観光振興などの新たな地域活性化などに取り組み始めました。



荒砥沢地すべり崩落地

観光施設整備事業

5,345万円

(担当：田園観光課 観光振興係)

栗駒山麓の観光拠点であるハイルゲーム栗駒、栗駒コテージなど市内観光施設の整備を行いました。

拡 チャレンジショップキーパー支援事業



151万円

(担当：産業戦略課 商工振興係)

商店街の活性化に向けて、空き店舗を活用し出店する事業者に対して、賃借料や店舗改装費を助成しました。

5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」

(1) 小さなコミュニティを大切にした地域づくりを推進します

 新規事業、 拡充事業 (事業名の頭に標記)

住民自治活動助成事業

5,702万円

(担当：市民協働課 市民協働男女参画係)

地域コミュニティ組織（自治会・コミュニティ推進協議会）の創意工夫による自立的なコミュニティ活動を支援するため、一括交付金を交付しました。

■ 交付組織数 自治会：251 組織
コミュニティ推進協議会：15 組織



地域コミュニティ活動の様子

(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します

市民活動支援センター運営事業

771万円

(担当：市民協働課 市民協働男女参画係)

市民活動団体やボランティア団体など、市民活動を行う方々の活動拠点として運営を行い、市民活動の活性化を促進しました。

(3) 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います

総合支所整備事業

3億3,713万円

【H25 年度への繰越額 4億368万円】

(担当：管財課財産係)

東日本大震災により被災・移転した清水、瀬峰、志波姫の各総合支所の新築、改築工事を行いました。



新築工事を進めている瀬峰総合支所

市役所本庁舎等改修事業

1億7,208万円

【H25 年度への繰越額 2億275万円】

(担当：管財課財産係)

市役所の利便性を高めるため、会議室などの増築工事を行いました。



増築工事を進めている市役所本庁舎

6 「震災からの復興を成し遂げ 発展していくまち」

(1) 社会生活基盤の早期復旧を図り 市民生活の再建を支援します

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に標記)

新 志波姫小学校災害復旧事業

14億4,244万円

【H25年度への繰越額 6億5,658万円】

(担当：教育総務課 教育施設係)

東日本大震災により被災した校舎及び体育館の解体、建設工事等を行いました。



完成した志波姫小学校体育館の様子

新 金成萩野保育所応急仮設施設事業

2,058万円

(担当：子育て支援課 保育サービス係)

東日本大震災により建物と敷地が被災し、萩野公民館で保育を実施している金成萩野保育所施設を建設し、安心して子どもを預けられる環境を整備しました。



金成萩野保育所 (応急仮設施設)

ブロック塀等除去・生垣等設置助成事業

85万円

(担当：建築住宅課 建築係)

地震などの災害によるブロック塀などの倒壊を防止し、安全な住環境にするため、道路に近接したブロック塀などの除却と生垣の設置に対して助成しました。(8件)

(2) 市民協働による災害に強いまちづくりを推進します

新 災害用備蓄品整備事業

212万円

緊急時の市民の生命に影響する「救急・救命活動」及び「水の供給」などを継続可能とするため、燃料については1週間程度分を備蓄し、食品については計画的に備蓄しました。



緊急時の備えとして計画的に備蓄しました

新 自主防災組織備品の拡充事業

1,638万円

自主防災組織が防災備品等を保管する防災倉庫の整備に対して助成しました。(105件)

(担当：危機対策課 防災係)





整備した防災倉庫 (若柳 有賀地区)

6 「震災からの復興を成し遂げ 発展していくまち」

(3) 福島第一原子力発電所からの放射性物質拡散への

備えを進め 安全・安心な暮らしを守ります

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

放射能除染対策事業

2億8,314万円

(担当：放射能対策室 放射能対策係)

【H25年度への繰越額1億920万円】

市民の放射能に対する不安や地元経済への風評被害を解消するため、除染実施計画を策定し、放射能の影響を受けやすい子どもの生活空間(保育・教育施設、公園など)を優先に除染作業を進めました。

■ 除染業務

保育・教育施設：14施設 公園・公共施設：4施設

■ 放射能測定業務

持込みによる食品等検査：3,744検体

出前式空間放射線量測定：215件

井戸水等の放射線量測定：214件



盛土による除染作業の様子(萩野第二小学校)

農林水産物等放射能調査事業

642万円

(担当：農林振興課 農政係)

放射能による風評被害を防止し、安全・安心な栗原産の農林産物を消費者に提供するため、米、大豆、野菜、特用林産物などの農林産物や土壌、堆肥などの放射性物質を測定しました。

■ 農林水産などの放射性物質検査 279検体

放射性物質吸収抑制対策事業

2億60万円

(担当：農林振興課 農政係)

安全・安心な農産物の生産を確保するため、放射性セシウムが確認された水稻・大豆ほ場で吸収抑制対策を講じました。

■ 塩化カリ配布 水稻 一般対策地域 6,934ha (5 kg/10a) 重点対策地域 3,982ha (10 kg/10a)
大豆 895ha (15 kg/10a)

原子力災害健康不安対策調査事業

4,902万円

(担当：健康推進課 健康推進係)

放射性物質による市民の健康不安を払しょくすることを目的に、医療機関での放射性物質内部被ばく線量測定を実施し、その費用助成を行いました。

また、平成25年度から栗駒保健センターにおいて、放射能内部被ばく線量測定を実施するため、ホールボディカウンタの購入と施設改修などの準備を行いました。

7 特別会計・事業会計決算の主な事業

新＝新規事業、**拡**＝拡充事業（事業名の頭に標記）

特定健康診査・特定保健指導事業
 (国民健康保険特別会計) 4,591万円
 (担当：健康推進課 医療給付係)

これまでの基本健康診査とともに、※メタボリックシンドロームやその予備軍を発見し、生活習慣を改善する保健指導を行いました。
 ※メタボリックシンドロームとは
 内臓脂肪型肥満によって、さまざまな病気が引き起こされやすくなった状態。

後期高齢者医療制度 8億14万円
 (後期高齢者医療特別会計)
 (担当：健康推進課 医療給付係)

75歳以上の方を対象に、超高齢社会を展望し、高齢者への安定的な医療を提供するため、保険料の徴収や窓口業務など、運営主体である宮城県後期高齢者医療広域連合と連携し運営にあたりました。

認知症対策事業 560万円

認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目的として、認知症予防教室や研修会、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の方とその家族を支援しました。

介護予防事業 1,271万円
 (介護保険特別会計)

運動機能や口腔機能の向上・栄養状態の改善に関する教室を開催し、高齢者が要介護状態にならないよう支援しました。

また、元気な高齢者がより健やかに自立した生活を送れるよう、運動教室の開催や介護予防について、市民や中学生への普及啓発を行いました。

(担当：介護福祉課 認定調査係)



地域型認知症予防教室の様子

簡易水道再編推進事業 8,737万円
 (簡易水道事業特別会計)

【H25年度への繰越額 2,900万円】

一迫・大川口・鶯沢簡易水道を統合し、災害に強い水道施設の構築と維持管理コスト縮減のための工事を行いました。

水道施設整備事業 2億22万円
 (水道事業会計、簡易水道事業特別会計)

【H25年度への繰越額 1億2,600万円】

水道水の安定供給や災害時の備えを目的として、古くなった水道本管やその他の水道施設を交換・修理する工事を行いました。
 (担当：水道課 施設係)

水洗化促進奨励金制度 80万円
 (下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、合併処理浄化槽事業特別会計)

(担当：下水道課 総務管理係)

水洗化の促進を目的に、くみ取り便所等を水洗便所に改造し、公共下水道等に接続された方に、水洗化促進奨励金を交付しました。
 (8件)



市内小中学生の作品による水洗化促進展示会

7 特別会計・事業会計決算の主な事業

新＝新規事業、拡＝拡充事業（事業名の頭に標記）

水洗便所等改造資金利子補給制度 29万円
 （下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、合併処理浄化槽事業特別会計）

水洗化の促進を目的に、水洗便所の改造及び排水設備工事等の資金を市が指定する金融機関から融資を受けた場合、その利子分を助成しました。（47件）

拡 **排水設備設置工事費補助金制度 83万円**
 （下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計）

公共汚水マスまでの距離が遠い方を対象に、排水設備工事費の一部を助成しました。（17件）（担当：下水道課 総務管理係）

医療機器整備事業 1億5,216万円

医療の充実とサービスの向上を図るため市立3病院の医療機器の更新を行いました。

医師住宅整備事業 5,312万円
 （病院事業会計）

医師招へいのため、老朽化した市立病院医師住宅の建て替えを行い、医師が働きやすい環境を整備しました。

（担当：医療管理課 経営管理係）



完成した医師住宅 2棟（若柳地区）

浄化槽整備事業(個人設置型) 473万円

湖沼や水路などの水質保全と生活環境を改善するため、公共下水道事業の計画区域内で、下水道が当分の間、整備されない区域を対象に、個人が設置する浄化槽へ補助金の交付を行いました。（13件）

戸別浄化槽設置事業(市町村設置型)
1億9,450万円
 （合併処理浄化槽事業特別会計）

湖沼や水路などの水質保全と生活環境を改善するため、公共下水道事業・農業集落排水事業が計画されていない区域を対象に、申請に基づく市設置型浄化槽を150基設置しました。

（担当：下水道課 総務管理係、施設整備係）

医学生修学一時金貸付事業 1,520万円

市立病院及び診療所への医師招へいを図るため、将来、市立病院及び診療所に医師として勤務しようとする医学生に対し、修学一時金を貸し付けました。

※貸付者数 平成18年度～平成24年度：16人

拡 **看護学生修学資金貸付事業 830万円**
 （病院事業会計）

市立病院及び診療所の看護師確保を図るため、看護師養成施設に在学する学生で、将来、市立病院及び診療所に看護師として勤務しようとする学生に対し、修学資金を貸し付けました。

※貸付者数 平成22年度～平成24年度：14人

（担当：医療管理課 総務係）

新 **各診療所発電機等購入事業**
 （診療所特別会計）

123万円

（担当：医療管理課 総務係）

災害に備え、停電時でも初期診療を行うことができるよう、市立4診療所に発電機などを配備しました。

各診療所に配備した発電機等



8 平成23年度からの主な繰越事業

平成23年度で行う事業が年度内に完了することができないなどの理由により、平成24年度に予算を繰越して事業を行いました。

防犯灯整備事業 8,105万円

(担当：危機対策課 防災係)

市内に設置している防犯灯を「環境と地域に優しい」LED防犯灯へ交換することにより、節電、電気料金の低減、灯具耐用年数の長期化など、ランニングコストの軽減が図られました。



LED 防犯灯

観光施設整備事業 5,579万円

(担当：田園観光課 観光振興係)

「金成温泉延年閣」は、東日本大震災の津波で被災した南三陸町からの避難者を受け入れた際に、避難所として利用されました。

その後、施設の再開に必要な修繕を行い、平成24年6月末から、再び多くの方々に利用されています。



新たに修繕された金成温泉延年閣

鶯沢小学校体育館改修事業

7,888万円

(担当：教育総務課 教育施設係)

老朽化した体育館の改修工事を行いました。

栗駒南小学校（旧尾松小学校）改修事業

9,768万円

(担当：学校教育課 教育環境推進係)

2階テラスの防水改修、内装及びトイレ改修、エレベーターの新設などを行いました。



改修された鶯沢小学校体育館の様子

栗原西中学校（旧一迫中学校）体育館改修事業

1,057万円

(担当：教育総務課 教育施設係)

老朽化した体育館の改修工事を行いました。



改修された栗原西中学校体育館の様子

8 平成23年度からの主な繰越事業

中学校校舎改築事業

8億4,900万円

(担当：教育総務課 教育施設係)

老朽化した若柳中学校校舎の改築工事、および築館中学校の敷地整備工事を行いました。

完成した若柳中学校校舎の外観



中学校プール改築事業

2億6,544万円

(担当：教育総務課 教育施設係)

老朽化した築館中学校プールの改築工事、および高清水中学校プールの耐震改修工事を行いました。



完成した築館中学校プール



完成した高清水中学校プール

道路整備事業

2億4,619万円

(担当：建設課 建設係)

市民の生活を支える基礎となる市道(橋梁)を整備し、安全で快適な道づくりを実施しました。

- 《築館》間渡戸線
- 《若柳》大林9号線、新田線(2期)
- 《栗駒》高松松倉線、上町裏線、広域線
- 《高清水》覚満寺線(2期)
- 《一迫》清水小栗目日照線、十日市線
- 《金成》栗原北上線
- 《花山》芦ノ口上原線



市道芦ノ口上原線(花山)

栗原市民憲章

(平成十九年九月一日制定)

このまちに生き このまちを愛し このまちを誇りとする私たちは

輝かしい未来を信じ 知恵と力を集め 夢と活力のあるまちをつくります

眼まなぐ 光を見つめ

足 大地を踏んまえ

手 明日あしたをぎっちり押さえ

腹ん中 熱あつつぐ熱あつつぐ

額ひてこびに広がる宇宙

天あま駈ける駒にまたがり

われらいま風を切って走る

平成24年度

「栗原市のお金の使い道」(栗原市決算概要)

発行 宮城県栗原市 編集 栗原市総務部財政課 財政係
〒987-2293 宮城県栗原市築館薬師一丁目7番1号
TEL 0228-22-1115
FAX 0228-22-0312
E-mail zaisei@kuriharacity.jp

この決算概要についてお気づきの点がございましたら、気軽に財政課財政係までお寄せください。